

クラウドファンディング活用

未来を築く 地域発イノベーション



大阪府商工労働部中小企業支援室 産業・サービス課 課長 樋原 弘幸氏

樋原 弘幸氏

「一般的にまだクラウドファンディングの理解が深まっていない。もっと

「未来ある子供のために」というコンセプトに共感いただき、事業への期待の高さを実感できた」と話す。すぐに募集を終えたため、第2弾の募集では上限1口にして長期間サイトに掲載することで、多くの人へのPR効果も狙った。「出資者ごコミュニティを育てていきたい」（飯田社長と、出資者の意見を取り入れた開発も行う。

中小企業がクラウドファンディングを活用して成長に結びつけるには、どうすればよいか。大阪府商工労働部中小企業支援室 産業・サービス課 課長 樋原弘幸氏に話を聞いた。

関東からも投資呼び込み

「消費者向けなど最終製品を作っているところ」が向いている。モノづくりに参入するなど、工夫次第で活用できる。

「出資者は東京が約4割、近畿が約3割を占める。「地元ファン作り」に加え、東京からも出資を集められるのは画期的なこと」（杉山氏）と指摘する。一方で、ミュージックセキリティーズの会員約7万人のうち約7割が男性という。杉山氏は「女性ターゲットの場合、反応が悪くなってしまう。女性へのクラウドファンディングの認知度アップが課題」と話す。そのため女性限定のPR企画などに取り組んでいる。

クラウドファンディングは企業と投資家をインターネット上で結びつけ、多数の投資家から少額ずつ資金を集める仕組みで、最近少しずつ広がってきた。出資者へのリターン形態にのり購入型や投資型がある。中小企業は資金調達方法を開拓できるほか、PJの

中小資金調達に普及促進

大阪府は大阪セキュリティーズ（大阪市北区）などの民間企業に事業を委託し、セミナーでの普及啓発活動やPJの発掘PJに物語性が必要だ。13年度の事業ではPJ

「大阪府は大阪セキュリティーズ（大阪市北区）などの民間企業に事業を委託し、セミナーでの普及啓発活動やPJの発掘PJに物語性が必要だ。13年度の事業ではPJ

大阪府

（大阪・吉岡尚子）

大阪府は2013年7月、全国の自治体で初めてクラウドファンディングの活用促進事業を始めた。中小企業への認知度向上のための普及促進活動と、府内企業の有望プロジェクト（PJ）を発掘する。発掘したPJはクラウドファンディング事業者に紹介してファンド組成を目指す。中小企業の成長を狙う。約1年間で16件のファンド組成が実現した。



100人以上が参加したセミナーではファンド組成した8事業者が発表（3月27日）

100人以上が参加したセミナーではファンド組成した8事業者が発表（3月27日）

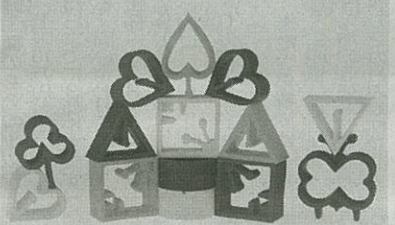
「未来ある子供のために」というコンセプトに共感いただき、事業への期待の高さを実感できた」と話す。すぐに募集を終えたため、第2弾の募集では上限1口にして長期間サイトに掲載することで、多くの人へのPR効果も狙った。「出資者ごコミュニティを育てていきたい」（飯田社長と、出資者の意見を取り入れた開発も行う。

事例

知育玩具の製造・販路開拓に生かす

アイ・シー・アイデザイン研究所

アイ・シー・アイデザイン研究所（大阪府守口市）は、ひっくり返すと形が変わる知育玩具「ノシリスII写真」の製造や販路開拓を目的とする。第1弾の募集では数日で募集金額に達し、飯田吉秋社長は



「未来ある子供のために」というコンセプトに共感いただき、事業への期待の高さを実感できた」と話す。すぐに募集を終えたため、第2弾の募集では上限1口にして長期間サイトに掲載することで、多くの人へのPR効果も狙った。「出資者ごコミュニティを育てていきたい」（飯田社長と、出資者の意見を取り入れた開発も行う。